

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約5年間（2016年3月1日～2021年2月26日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）（以下「連動債券」といいます。）	
	為替ヘッジあり	<p>①主として、連動債券への投資を通じて、米国のリート指数（※）に連動した投資成果を信託財産の純資産総額の100%程度享受するとともに、実質的に米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に信託財産の純資産総額の80%程度投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※米国のリート指数とは、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数をいいます。</p> <p>②連動債券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p>
運用方法	為替ヘッジなし	<p>①主として、連動債券への投資を通じて、米国のリート指数（※）に連動した投資成果を信託財産の純資産総額の100%程度享受するとともに、実質的に米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に信託財産の純資産総額の80%程度投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※米国のリート指数とは、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数をいいます。</p> <p>②連動債券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p>	

ダイワ米国リート・プラス （毎月分配型） 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2016年6月27日）
第2期（決算日 2016年7月26日）
第3期（決算日 2016年8月26日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、第1期～第3期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <3292>
<3293>

★為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

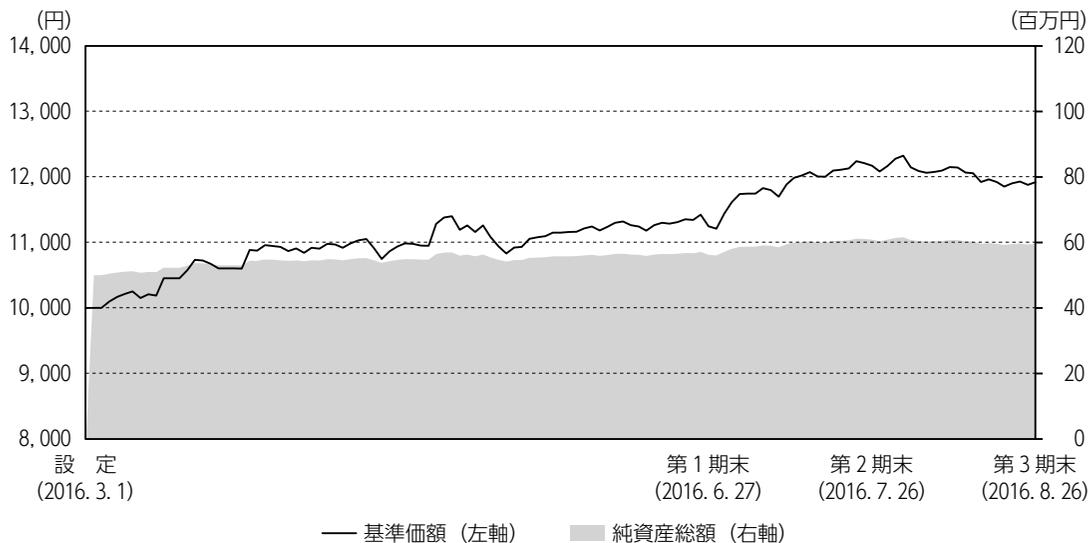
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率		
1 期末 (2016年 6 月27日)	円 11,248		円 0	% 12.5	% 91.6	百万円 56
2 期末 (2016年 7 月26日)	12,210		0	8.6	101.6	61
3 期末 (2016年 8 月26日)	11,921		0	△ 2.4	94.3	59

(注 1) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第3期末：11,921円

騰落率：19.2%

■基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行ない運用した結果、米国リートが上昇したことやバンクローン等が堅調な推移となったことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 社 入 比 債 率
		円	騰 落 率 %	
第 1 期	(設 定) 2016年 3 月 1 日	10,000	—	—
	3 月 末	10,877	8.8	99.4
	4 月 末	10,979	9.8	98.1
	5 月 末	11,152	11.5	100.3
	(期 末) 2016年 6 月 27 日	11,248	12.5	91.6
第 2 期	(期 首) 2016年 6 月 27 日	11,248	—	91.6
	6 月 末	11,617	3.3	98.4
	(期 末) 2016年 7 月 26 日	12,210	8.6	101.6
第 3 期	(期 首) 2016年 7 月 26 日	12,210	—	101.6
	7 月 末	12,167	△ 0.4	97.0
	(期 末) 2016年 8 月 26 日	11,921	△ 2.4	94.3

(注) 騰落率は期首比（第1期は設定比）。

投資環境について

○米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。設定時から2016年7月にかけては、他の地域と比べて良好な経済環境や、低金利環境の中で相対的に高い利回りが好感されたことなどから上昇する展開となりました。しかし8月以降は、米国での利上げに対する思惑や高値警戒感などから、それまでの上昇幅を縮小して第3期末を迎えました。

○米国債券市況

米国債券市況は金利が低下しました。設定時よりレンジ内で推移しましたが、2016年6月下旬から7月上旬にかけては、英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱派が勝利したことで金利は低下しました。その後は、リスク回避姿勢の後退からやや金利が上昇して第3期末を迎えました。

バンクローンやハイ・イールド債券市況は、堅調な商品市況を背景に市場のリスク回避姿勢が後退し、上昇しました。

○短期金利市況

日銀は大規模な量的・質的金融緩和を継続しており、日本の短期金利は低位で推移しました。一方、米国はFRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の誘導目標レンジを0.25～0.50%に据え置きました。

ポートフォリオについて

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にGIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

（※）GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行ないます。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期間は、分配方針通り分配を行ないませんでした。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期
	2016年3月1日 ～2016年6月27日	2016年6月28日 ～2016年7月26日	2016年7月27日 ～2016年8月26日
当期分配金（税込み）（円）	—	—	—
対基準価額比率（％）	—	—	—
当期の収益（円）	—	—	—
当期の収益以外（円）	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,247	2,210	2,328

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 1 期～第 3 期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 1～2016. 8. 26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	67円	0.580%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,618円です。
（投信会社）	(21)	(0.180)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(45)	(0.385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	7	0.060	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(4)	(0.037)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	74	0.640	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている連動債券が支払った費用を含みません。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年3月1日から2016年8月26日まで)

決 算 期			第 1 期 ～ 第 3 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社 債 券	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			518	23 ()

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年3月1日から2016年8月26日まで)

第 1 期 ～ 第 3 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Star Helios Plc（アイルランド）2021/1/19	千円 57,806	Star Helios Plc（アイルランド）2021/1/19	千円 2,459

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第1期～第3期）中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

設 定 時 保 有 額	当作成期間中 設 定 額	当作成期間中 解 約 額	第 3 期 末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 50	百万円 —	百万円 —	百万円 50	当初設定時における取得

- (注1) 金額は元本ベース。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期 区 分	額 面 金 額	第 3 期 末						
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 490	千アメリカ・ドル 559	千円 56,188	% 94.3	% —	% —	% 94.3	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジあり

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 3 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 490	千アメリカ・ドル 559	千円 56,188	2021/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2016年8月26日現在

項 目	第 3 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	56,188	94.2
コール・ローン等、その他	3,486	5.8
投資信託財産総額	59,674	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝100.50円です。

(注3) 第3期末における外貨建純資産（56,738千円）の投資信託財産総額（59,674千円）に対する比率は、95.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年6月27日)、(2016年7月26日)、(2016年8月26日) 現在

項 目	第1期末	第2期末	第3期末
(A) 資産	108,523,114円	125,487,139円	121,418,765円
コール・ローン等	974,903	819,967	921,988
公社債（評価額）	51,491,567	62,035,314	56,188,545
未収入金	56,056,644	62,617,264	64,289,383
その他未収収益	—	14,594	18,849
(B) 負債	52,283,536	64,436,838	61,814,695
未払金	52,066,920	64,377,618	61,749,983
未払信託報酬	215,232	57,466	62,555
その他未払費用	1,384	1,754	2,157
(C) 純資産総額（A－B）	56,239,578	61,050,301	59,604,070
元本	50,000,000	50,000,000	50,000,000
次期繰越損益金	6,239,578	11,050,301	9,604,070
(D) 受益権総口数	50,000,000口	50,000,000口	50,000,000口
1万口当り基準価額（C/D）	11,248円	12,210円	11,921円

* 設定時における元本額は50,000,000円、当作成期間（第1期～第3期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 第3期末の計算口数当りの純資産額は11,921円です。

■損益の状況

第1期 自2016年3月1日 至2016年6月27日
 第2期 自2016年6月28日 至2016年7月26日
 第3期 自2016年7月27日 至2016年8月26日

項 目	第1期	第2期	第3期
(A) 配当等収益	1,847,749円	678,505円	655,609円
受取利息	1,847,754	663,911	651,354
その他収益金	—	14,594	4,255
支払利息	△ 5	—	—
(B) 有価証券売買損益	4,636,233	4,192,993	△ 2,036,951
売買益	9,306,989	5,955,388	2,555,199
売買損	△ 4,670,756	△ 1,762,395	△ 4,592,150
(C) 信託報酬等	△ 244,404	△ 60,775	△ 64,889
(D) 当期損益金 (A + B + C)	6,239,578	4,810,723	△ 1,446,231
(E) 前期繰越損益金	—	6,239,578	11,050,301
(F) 合計 (D + E)	6,239,578	11,050,301	9,604,070
次期繰越損益金 (F)	6,239,578	11,050,301	9,604,070
分配準備積立金	6,239,578	11,050,301	11,641,021
繰越損益金	—	—	△ 2,036,951

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第1期	第2期	第3期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,778,094円	670,039円	590,720円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	4,461,484	4,140,684	0
(c) 収益調整金	0	0	0
(d) 分配準備積立金	0	6,239,578	11,050,301
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	6,239,578	11,050,301	11,641,021
(f) 分配金	0	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	6,239,578	11,050,301	11,641,021
(h) 受益権総口数	50,000,000口	50,000,000口	50,000,000口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★為替ヘッジなし

設定以来の運用実績

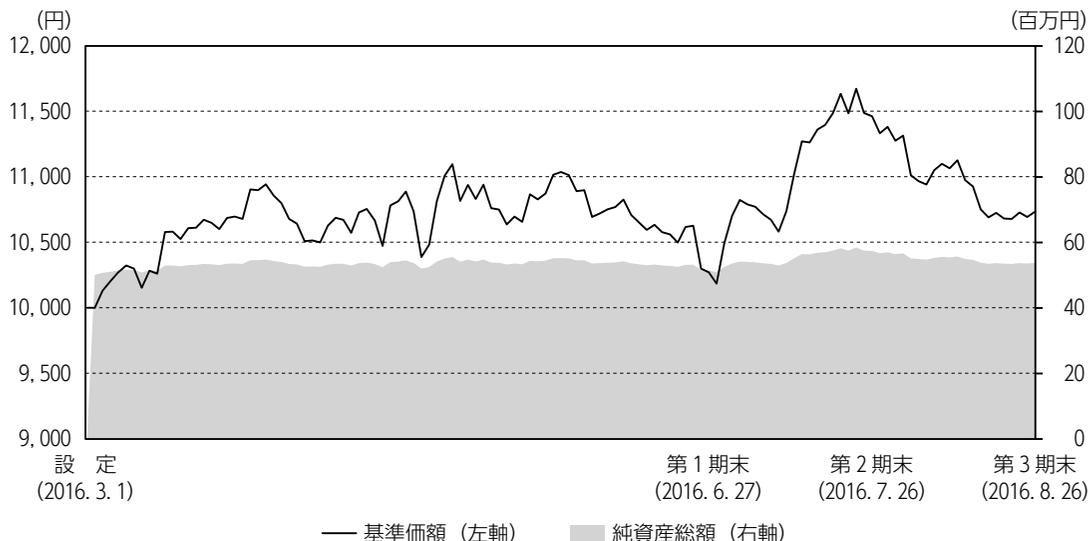
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額
	税 分	込 配	み 金	期 騰 落 中 率		
1 期末 (2016年 6 月27日)	円		円	%	%	百万円
	10,270		0	2.7	98.1	51
2 期末 (2016年 7 月26日)	11,486		0	11.8	99.4	57
3 期末 (2016年 8 月26日)	10,733		0	△ 6.6	98.3	53

(注1) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

第3期末：10,733円

騰落率：7.3%

■基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米ドルが対円で下落したことがマイナス要因になりましたが、米国リートが上昇したことやバンクローン等が堅調な推移となったことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 社 債 入 入 比 率
		円	騰 落 率 %	
第 1 期	(設 定) 2016年 3月 1日	10,000	—	—
	3月末	10,897	9.0	99.2
	4月末	10,735	7.4	98.1
	5月末	11,035	10.4	99.2
	(期 末) 2016年 6月27日	10,270	2.7	98.1
第 2 期	(期 首) 2016年 6月27日	10,270	—	98.1
	6月末	10,701	4.2	98.1
	(期 末) 2016年 7月26日	11,486	11.8	99.4
第 3 期	(期 首) 2016年 7月26日	11,486	—	99.4
	7月末	11,380	△ 0.9	99.4
	(期 末) 2016年 8月26日	10,733	△ 6.6	98.3

(注) 騰落率は期首比（第1期は設定比）。

投資環境について

○米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。設定時から2016年7月にかけては、他の地域と比べて良好な経済環境や、低金利環境の中で相対的に高い利回りが好感されたことなどから上昇する展開となりました。しかし8月以降は、米国での利上げに対する思惑や高値警戒感などから、それまでの上昇幅を縮小して第3期末を迎えました。

○米国債券市況

米国債券市況は金利が低下しました。設定時よりレンジ内で推移しましたが、2016年6月下旬から7月上旬にかけては、英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱派が勝利したことで金利は低下しました。その後は、リスク回避姿勢の後退からやや金利が上昇して第3期末を迎えました。

バンクローンやハイ・イールド債券市況は、堅調な商品市況を背景に市場のリスク回避姿勢が後退し、上昇しました。

○為替相場

米ドルは対円で下落しました。設定時より、米国の利上げ観測の後退などから円高米ドル安の流れが続きました。2016年6月後半に、英国の国民投票でEU離脱派が勝利すると市場のリスク回避姿勢が強まり、円高米ドル安が進行しました。7月中旬には、日本政府による大型経済対策への期待や日銀の追加緩和への期待から円安米ドル高となりましたが、その後は再び円高となり第3期末を迎えました。

ポートフォリオについて

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にGIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

（※）GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行いません。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期間は、分配方針通り分配を行ないませんでした。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第1期	第2期	第3期
	2016年3月1日 ～2016年6月27日	2016年6月28日 ～2016年7月26日	2016年7月27日 ～2016年8月26日
当期分配金（税込み）（円）	—	—	—
対基準価額比率（％）	—	—	—
当期の収益（円）	—	—	—
当期の収益以外（円）	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	316	1,485	1,599

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時にG I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラスの値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 1 期～第 3 期		項 目 の 概 要
	(2016. 3. 1～2016. 8. 26)		
	金 額	比 率	
信託報酬	64円	0.592%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,887円です。
（投信会社）	(20)	(0.183)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(43)	(0.393)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	6	0.053	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(4)	(0.040)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	70	0.645	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている連動債券が支払った費用を含みません。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2016年3月1日から2016年8月26日まで)

決 算 期		第 1 期 ～ 第 3 期	
		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ 社 債 券	千アメリカ・ドル 462	千アメリカ・ドル — (—)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2016年3月1日から2016年8月26日まで)

第 1 期 ～ 第 3 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
Star Helios Plc (アイルランド) 2021/1/19	千円 51,979		千円

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第1期～第3期）中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

設 定 時 保 有 額	当作成期間中 設 定 額	当作成期間中 解 約 額	第 3 期 末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 50	百万円 —	百万円 —	百万円 50	当初設定時における取得

- (注1) 金額は元本ベース。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期 区 分	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 460	千アメリカ・ドル 524	千円 52,748	% 98.3	% —	% —	% 98.3	% —

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国リート・プラス（毎月分配型）為替ヘッジなし

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 3 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 460	千アメリカ・ドル 524	千円 52,748	2021/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2016年8月26日現在

項 目	第 3 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 52,748	% 98.2
コール・ローン等、その他	974	1.8
投資信託財産総額	53,722	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝100.50円です。

(注3) 第3期末における外貨建純資産（53,352千円）の投資信託財産総額（53,722千円）に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年6月27日)、(2016年7月26日)、(2016年8月26日) 現在

項 目	第1期末	第2期末	第3期末
(A) 資産	51,563,656円	57,484,734円	53,722,526円
コール・ローン等	1,191,470	396,995	954,921
公社債（評価額）	50,372,186	57,072,489	52,748,430
その他未収収益	—	15,250	19,175
(B) 負債	211,238	55,004	59,140
未払信託報酬	209,910	53,340	57,113
その他未払費用	1,328	1,664	2,027
(C) 純資産総額（A－B）	51,352,418	57,429,730	53,663,386
元本	50,000,000	50,000,000	50,000,000
次期繰越損益金	1,352,418	7,429,730	3,663,386
(D) 受益権総口数	50,000,000口	50,000,000口	50,000,000口
1万口当り基準価額（C/D）	10,270円	11,486円	10,733円

* 設定時における元本額は50,000,000円、当作成期間（第1期～第3期）中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

* 第3期末の計算口数当りの純資産額は10,733円です。

■損益の状況

第1期 自2016年3月1日 至2016年6月27日
 第2期 自2016年6月28日 至2016年7月26日
 第3期 自2016年7月27日 至2016年8月26日

項 目	第1期	第2期	第3期
(A) 配当等収益	1,820,840円	624,972円	628,102円
受取利息	1,820,840	609,722	624,177
その他収益金	—	15,250	3,925
(B) 有価証券売買損益	△ 232,048	5,507,417	△ 4,336,586
売買益	4,316,901	5,507,417	—
売買損	△ 4,548,949	—	△ 4,336,586
(C) 信託報酬等	△ 236,374	△ 55,077	△ 57,860
(D) 当期損益金 (A + B + C)	1,352,418	6,077,312	△ 3,766,344
(E) 前期繰越損益金	—	1,352,418	7,429,730
(F) 合計 (D + E)	1,352,418	7,429,730	3,663,386
次期繰越損益金 (F)	1,352,418	7,429,730	3,663,386
分配準備積立金	1,584,466	7,429,730	7,999,972
繰越損益金	△ 232,048	—	△ 4,336,586

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第1期	第2期	第3期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,584,466円	619,360円	570,242円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	5,225,904	0
(c) 収益調整金	0	0	0
(d) 分配準備積立金	0	1,584,466	7,429,730
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,584,466	7,429,730	7,999,972
(f) 分配金	0	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,584,466	7,429,730	7,999,972
(h) 受益権総口数	50,000,000口	50,000,000口	50,000,000口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。